

報道関係者各位

札幌手稲発！ 英国アンティークと自家焙煎コーヒーの出会い —時空を超えたカフェが2周年—

文化発信拠点を目指す「Acoustic Cafe」

2023年9月、札幌市手稲区新発寒にオープンした「Acoustic Cafe（アコースティックカフェ）」は、自家焙煎珈琲と英国アンティーク食器を楽しむ、道内でも類を見ないコンセプトカフェです。開店から2年を迎える今年、当店は「カフェ」という枠を超え、暮らしの中に文化や小さな楽しみを届ける“場”としての取り組みを少しずつ広げていきます。



◆札幌からもっと気軽に英国アンティークを

店内で使っている食器の多くは、イギリスのビンテージやアンティーク。購入もできるという、ちょっと変わったスタイルのカフェです。

札幌では北欧雑貨を扱うお店は多い一方で、英国アンティークに特化したカフェはほとんどなく、興味を持ってくださるお客様が少しずつ増えています。

また、イギリスの老舗陶器ブランド「デンビー（Denby）」や、英国湖水地方の伝統的なマーマレード「ダルメイン（DALEMAIN）」など、北海道では当店でしか手に入らない英国ブランドも扱っています。



◆コーヒーと心地よい音楽 — 五感で味わうカフェ

カフェでは、店主が自ら焙煎した豆で淹れるコーヒーを、アンティークのカップで提供しています。最新のコーヒーを100年前のカップで飲む。

まさに時空を超えたカフェ。

店内には、アコースティック音楽が流れ、不定期でライブも開催。

このカフェは友人や家族と語らう場であると同時に、一人でぼんやり過ごす時間を楽しめる、とっておきの静かな居場所でもあります。

忙しい日々の中で、ふと立ち寄って、ただ一杯のコーヒーに向き合う。

そんなひとときを大切にしているカフェです。



◆ 店主は元・動物園学芸員。異色の経歴から生まれた“つながる場所”

店主の松浦秀治（まつうら ひではる）は、美唄市出身（※）。

2023年春まで千葉県の市川市動植物園で動物や植物の飼育・管理を担当し、コーヒーの栽培にも関わってきました。「動物や植物と向き合うように、人とも丁寧に向き合える場所をつくりたい」と札幌・手稲の地にカフェを開業。今後は、アンティーク食器の展示・販売イベントや、マーマレードの試食会なども展開予定。

北海道での“英国アンティーク文化”の定着を目指しています。

（※）美唄市で約半世紀の歴史を持つ「COFFEE 鹿」は叔父叔母夫婦が営んでいる老舗喫茶店。

【店舗情報】

店名：Acoustic Cafe（アコースティックカフェ）

所在地：札幌市手稲区新発寒3条2丁目3番23号

オープン日：2023年9月8日

電話番号：011-665-3633

営業時間／定休日：11：00～19：00（夏季） 水、木

公式SNS：Instagram（@acoustic_cafe_sapporo）

【本件に関するお問い合わせ】

担当者名：松浦秀治（マツウラ ヒデハル）

電話番号：011-665-3633

メールアドレス：acoustic_cafe830@yahoo.co.jp